

＝平成30年度早川南小学校だより＝

はるき



平成30年12月21日

No.38

校長 坂野 修一

2学期終業式！

～5つの約束をしました～



「光陰矢の如し」の言葉どおり、あっという間に2学期が駆け抜けていきました。2学期の授業日数は78日(台風21号の影響で一日臨時休校)。その一日一日を、子どもたちも駆け抜けてくれました。明日冬至を迎える日の短さ、ここへ来ての朝夕の冷え込みを思うと、夏休み明け当時の残暑が懐かしく思います。運動会、バンドフェスティバル…。一つ一つの行事、そして日々の学習・生活を通し、子どもたちは着実に成長を遂げました。そうしたことを踏まえ、終業式では5つの約束を子どもたちと交わしました。

①新たな目標

「一年の計は元旦にあり」の言葉どおり、新年を迎えるにあたり「新たな目標」を立てることです。そして、その目標は「実現可能なもの」、「毎日の積み重ねが大切なもの」であってほしいと思います。正月に目標を立て、一年の成長を誓うことは、子どもばかりでなく家族揃ってできることでもあります。親子で目標を立て共有してみたらいかがでしょうか。

②家の手伝い

年末は、どのご家庭でも大掃除や正月の準備で忙しいことでしょう。家族の一員としての「役割」を与え、子どもに手伝いをさせてください。それぞれの学年に応じた、それぞれの家庭に応じた仕事があるはずですよ。

③早寝・早起き・朝ごはん

実質17日間の冬休み、生活のリズムが崩れやすくなります。夜更かしに暴飲暴食を重ね体調を壊し、スムーズな3学期のスタートが切れなくては困ります。大晦日はともかくとして、是非規則正しい毎日が過ごせますようお願いします。

④よく遊びよく学べ

年末年始は、お出かけもあるでしょう。おもしろいテレビもあるでしょう。それこそが正月の行事です。積極的に出かけるべきですし、テレビも「見るな！」は酷なことです。要は、それが済んだら「机に向かうこと」です。切り替え上手な冬休みにしてほしいと思っています。

⑤お金の使い方

クリスマスから正月にかけては、子どもたちにとって「リッチ」な時になります。お年玉をもらったらどうするかを、是非親子でよく話し合ってみて下さい。子どもが納得する内容で…。お金の管理を、子ども任せにすることだけにはならないようお願いします。

夏休みと違って冬休みは、子どもが大人に合わせることが多くなります。こうした時期だからこそ、『世間』を『しきたり』を知る、また教えるチャンスです。大人がその意識を持っているかいないかでは大違いになります。宴席に同伴することがあるかもしれません。「子どもだから…」と捉えるか、人と人とのつながりを感じる学ぶ場と捉えるかで、大人の姿勢も変わってきます。正月という1年に1度のイベントを、子どもの成長の場としてほしいと思います。

「クリスマスケーキを食べ、年越しそばをすする」「我が母校のラグビーや山梨県代表の高校サッカーに箱根駅伝と、冬のスポーツ応援を楽しむ」毎年繰り返される風景を、私も楽しみたいと思っています。今年1年、学校へのご協力ありがとうございました。みなさま良いお年をお迎え下さい！